



長野県総合教育センター研究協議会を2月19日(火)に開催します

当センターの1年間の研究・調査のまとめとして、学校に役立つ情報を発表、提案します。

□ 日 程

時間	内容	
9:10～ 9:35	受付	
9:40～ 9:50	開会行事(分科会各会場にて)	
10:00～12:00 (120分)	分科会	テーマ
	A	希望研修を学校づくりに活用する OUTPUT の在り方 ～小学校外国語活動・外国語～
	B	小学校プログラミング教育 ～校内研修の在り方について～
	C	探究的な学びに焦点を当てた カリキュラム・マネジメント
	D	「子どもを支えるために」 ～子ども理解を考える～
	E	各校における ICT 活用と推進のためのポイント ～初めての活用を支援～
	F	平成の教育をふりかえる
12:00～13:00	昼食	
13:00～16:00	全体会	テーマ「平成の教育改革をふりかえる」 全体発表 「平成の教育をふりかえる」 講演 「次の時代の日本社会と、 これからの学校教育に期待すること」 講師 波頭 亮 氏 (株)XEED 代表
16:00～16:10	閉会行事(アンケート記入)	

□ 会 場 長野県総合教育センター 〒399-0711 長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4

長野県総合教育センター 企画調査部
 (部長) 酒井 賢一 (担当) 菅原 崇
 TEL 0263-53-8802 FAX 0263-51-1290
 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

チーム課題研究の発表（10:00～12:00）

□ 分科会の概要

分科会	内容
<p>A 希望研修を学校づくりに活用する OUTPUT の在り方 ～小学校外国語活動・外国語～</p> 	<p>「研修講座で学んだことを自分だけのものにしておくのはもったいない。でも、どうやって同僚の先生方に伝えればいいのかなあ？」 研修で学んだことの活用につなげる OUTPUT について、小学校外国語活動・外国語を窓口にして一緒に考えましょう。 (写真は、校内研修でのアクティビティーの様子です)</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動・外国語のミニ講座を体験します。 ・追跡調査を行った学校の実際の様子を紹介します。 ・体験したことを、どのように校内で広めていくかを協議します。 <p>教科教育部 専門主事 高橋 廣貴 他</p>
<p>B 小学校プログラミング教育 ～校内研修の在り方について～</p> 	<p>「プログラミング教育って、具体的に何をすればいいのだろう？」 「何か特別なスキルを身に付けなければいけないの？」 各種研修で学んだけれど、実際に自校でプログラミング教育を進めるためにはハードルが高いという声を聞きます。校内研修の在り方も含めて、総合的に考えていきましょう。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング講座を体験し、各教科の学習でプログラミング的思考を働かせている子どもの姿を発見します。 ・校内研修で、先生方が気付きを深めていく様子を紹介します。 <p>教科教育部 専門主事 松本 俊一 他</p>
<p>C 探究的な学びに 焦点を当てた カリキュラム・マネジメント</p> 	<p>カリキュラム・マネジメントはどのように推進していけばよいのでしょうか。学校教育目標達成のために、地域の素材をもとに各教科をつなげ、探究的な学びを進めるカリキュラム・マネジメントについて、手法の一つを体験しながら、理解を深めましょう。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントの理論について理解を深めます。 ・地域の素材をもとにしたカリキュラム・マネジメントのモデルを紹介します。 ・オリジナルワークシートを活用して、カリキュラム・マネジメントのモデルづくりを体験します。 <p>教職教育部 専門主事 向井 真弓 他</p>
<p>D 「子どもを支えるために」 ～子ども理解を考える～</p>  <p>※研究テーマ 「チームとしての学校をサポートするために」を変更しました。</p>	<p>「この子が安心して楽しく学ぶには何をどのようにしたらよいのか？」 「そのために、この子をどのように理解したらよいのか？」 すべては子どもの笑顔のために… 子ども理解のポイントを一緒に考えましょう。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解のポイントをまとめたリーフレットの紹介 ・情報交換 等 <p>生徒指導・特別支援教育部 専門主事 染川あゆみ 他</p>

<p>E 各校における ICT 活用と 推進のためのポイント ～初めての活用を支援～</p> 	<p>ICT を活用した授業改善や充実が求められ、機器の導入が進められています。そこで、授業での教師による ICT 活用と児童・生徒による ICT 活用を紹介し、「まず使ってみる」という初期の活用方法や、授業での効果的な活用を推進するためのポイント、校内研修のあり方等を一緒に考えましょう。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT を活用している学校の取組から先進的な事例を紹介します。 ・ICT を使っていく上での課題や効果、学校内で活用を推進する方法を考えます。 <p>情報・産業教育部 専門主事 高橋 幸久 他</p>
<p>F 平成の教育を ふりかえる</p>  <p>※研究テーマ 「平成の教育改革の変遷」 を変更しました。</p>	<p>平成の終わりまで、あと4ヶ月。「平成最後の〇〇」が流行している今、総合教育センターも平成最後の研究協議会に「平成の教育改革の変遷」をまとめてみました。</p> <p>学習指導要領の変遷、平成に生まれた新教科や新しい教育活動、平成の教育に大きく影響を与えた事件等、全国の動きから、長野県の学校数や児童・生徒数の移り変わり、長野県教育のトピックスまで、この30年間の様々なデータを用意してお待ちしております。</p> <p>平成の30年間を振り返り、今まで大切にしてきたことをどう守っていくか、どんなことを大切に新しい時代の教育を切り拓いていくか、一緒に考えましょう。</p> <p>教科教育部 専門主事 小町谷 聖 他</p>

全体会・講演会 会場：講堂 (13:00～16:00)

<p>テーマ：平成の教育改革をふりかえる</p>	
<p>全体発表 「平成の教育をふりかえる」</p>	
<p>講演</p> <p>「次の時代の日本社会と、これからの学校教育に期待すること」</p> <p>講師：波頭 亮氏 (株)XEED代表</p>  <p>マッキンゼー&カンパニーを経て、幅広い分野における戦略系コンサルティングの第一人者として活躍を続ける、波頭氏。 著書「AIとBIはいかに人間を変えるのか」では、すべての生産活動をAI(人工知能)が行い、生きていくためのお金はBI(ベーシックインカム)で賄われる時代を予測する。 波頭氏の描く、平成が終わった次の時代とは？ そのような時代に生きる子どもたちのための教育は どうあったらよいのか？ そして、日々一人一人の子どもたちの今と向き合う私たちは、 波頭氏の描く未来とどう向き合うのか？</p>	